

競技注意事項

- 1 規則 2025年(公財)日本陸上競技連盟競技規則並びに本競技会申し合わせ事項によって実施する。
- 2 変更・訂正
 - ・競技者の変更は一切認めない。
 - ・プログラム誤記の訂正は速やかに本部記録係へ申し出る。
- 3 欠場 各種目にやむを得ず欠場するものは、できるだけ早く競技者係に欠場届を提出すること。
- 4 練習
 - ・練習は、補助競技場を使用する。
 - ・競技場使用上の注意に従い、個別に行うこととする。ただし、投てき・跳躍の練習は役員の指示に従って行うこと。なお、本部のアナウンスに注意し、その指示に従うこと。
 - ・フィールド種目の公式練習は、競技場内で競技役員の指示により行うものとする。
 - ・競技者以外の練習は認めない。
 - ・投擲練習については、補助競技場において、メディシンボールのみ使用することができる。ただし、役員の指示に従い、指定された区画で危険のないように使用すること。ゴム製を含む円盤を投げる練習は禁止する。
- 5 競技用靴 2025年度日本陸上競技連盟競技規則 TR5.2 および(国内)競技用靴に関する主要規則を適用する。
- 6 招集
 - ・招集所は、100mスタート付近に設ける。
 - ・競技順序記載の招集時間内に、招集所で本人がコール用紙に自分で○をつける。このとき、腰ナンバー標識を受け取る。 ※招集所には、本人のみ行く。付き添いの同行は認めない。
 - ・招集終了後、競技順序記載の集合時刻までに、集合場所で最終確認を受ける。
 - ・招集時間や集合時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を欠場するとみなし、出場を認めない。
 - ・代理人による招集は認めない。
- 7 用具 競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。
- 8 アスリートビブス
 - ・アスリートビブス(横浜市陸協指定)は、2枚をユニフォームの胸と背に結着すること。ただし、跳躍種目の競技者は1枚を胸または背に結着するだけでよい。
 - ・本競技会申込時にアスリートビブスを購入依頼した者は、本部まで取りに来ること。
 - ・腰ナンバー標識は、すべてのトラック種目で使用する。腰ナンバー標識は右腰に結着し、競技終了後は各自持ち帰ること。
 - ・競技者は、各自で安全ピンを必要な数だけ用意すること。
 - ・発行されたアスリートビブスを紛失した場合は、1組300円で再発行する。自作のものは認めない。
- 9 計測
 - ・トラック種目は、全ての競技者のタイムを計測する。ただし、競技運営上、著しく遅れた競技者に対して競技を中止させる場合がある。
 - ・フィールド競技の計測ライン及びバーの上げ方は、各審判主任の指示によるものとする。
- 10 スタート
 - ・スタートの合図はイングリッシュコマンドで行い、1回目の不正スタートで失格とする。
 - ・スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告(イエローカード)が与えられる。
 - ・同一レースのイエローカード2枚で当該レースの失格(レッドカード)とする。
 - ・800mについては2段スタートで行う。

- 1.1 助力
- ・競技場内での助力行為は禁止とする。
 - ・フィールド種目の助言（競技規則の範囲内）においては、コーチングエリア内で行うこととし、競技運営並びに安全上に問題のない範囲で認めるものとする。なお、コーチングエリアに常駐はできない。
 - ・文書をもって連絡することや、当該競技場所を勝手に離れることはできない。また、ビデオ・ラジオ・CD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことはできない。
- 1.2 全般に渡る注意点
- ・招集後は荷物を45Lのビニール袋に入れて所定の場所に置く。ビニール袋には学校番号を書くこと。
- 1.3 その他
- ・参加校の顧問は競技役員または補助役員として8:00までに学校受付および役員受付を済ませること。なお、競技役員の仕事時間は競技終了までとする。
 - ・競技場の利用のしかたについては、「三ツ沢競技場使用上の注意・お願い」を参照すること。
 - ・記録は、メインスタンド下通路に掲示をする。また、記録掲載サイトのQRコードで確認ができ、後日横浜市陸上競技協会のHPに記載する。<http://hamariku.jp>。

1.4 会場図

